

# THE SAISON FOUNDATION

## 公益財団法人セゾン文化財団

### セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、セゾン AIR パートナーシップ来日者の紹介


2019年度のセゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、西オーストラリア州立劇場のレジデント・ダンス・カンパニー、Co3 Australia との交流事業の一環として、同ダンス・カンパニーの芸術監督、レイウィン・ヒルをお迎えします。

レイウィン・ヒルはニュージーランド生まれの振付家で、現在、Co3 Australia の芸術監督としてパースを拠点に活動しています。ニュージーランドの振付家として初めてシドニー・オペラ・ハウスの主催プログラムでソロ作品を発表したほか、パリのシテ・インターナショナル・デザールやニューヨークのバリシニコフ・アーツ・センターのレジデント・アーティストとして選出されました。また、自身のカンパニー、Raewyn Hill and Dancers(2007-2009年)のほか、オーストラリアのクイーンズランド州のダンス・カンパニー、Dancenorthの芸術監督(2010-2014年)を務めた経歴があります。日本では、美術家、吉本直子とのコラボレーション作品、『Flock／群れ』(2014年)を国立新美術館で発表し、また、2016年、トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)のレジデンス・プログラムに滞在した経験があります。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、美術家の吉本直子とスタートしたコラボレーション・プロジェクト、「MA Project」を発展させるため、舞踏家の大野慶人や建築家の岡田哲史、吉本直子との共同作業を行います。なお、Co3 Australia は美術家の吉本直子をオーストラリアに招へいし、Co3 Australia のカンパニーメンバーとの共同作業を支援する予定です。

滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2019年5月21日(火)-6月19日(水) 予定  
\* 森下スタジオで6月中旬にアーティスト・トークを開催予定
- 滞在场所 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6)

 平成31年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

  レイウィン・ヒル	<h3>プロフィール</h3> <p>【組織】 Co3 Australia</p> <p>2015年、西オーストラリア州のコンテンポラリーダンス・カンパニーとして設立。カンパニーの作品創作や上演のほか、市民を対象とした教育普及プログラム、若手の振付家やダンサーの人材育成事業等を展開する。2016年から西オーストラリア州立劇場のレジデント・カンパニーとして同劇場を拠点に活動する。</p> <p>【アーティスト】 レイウィン・ヒル [Raewyn Hill]</p> <p>ニュージーランド生まれ。New Zealand School of Dance (NZSD)を卒業後、ニュージーランド、オーストラリアを中心に活動。オーストラリアのクイーンズランド州のダンス・カンパニー、Dancenorth 芸術監督(2010-2014)、西オーストラリア州のコンテンポラリーダンス・カンパニー、Co3 芸術監督(2015-)を歴任。</p>
--	---

## 公益財団法人セゾン文化財団